

令和6年3月臨時会

令和6年3月28日(木曜日)

◎ 出欠席議員氏名

丹野貞子 議長 吉田芳美 副議長

出席議員(13名)

1番 安達智勇 議員	2番 漆山光春 議員	3番 安孫子真弥 議員
4番 東海林信弘 議員	5番 石垣光洋 議員	6番 増川憲一 議員
7番 木村章一 議員	9番 鈴木英友 議員	10番 林智 議員
11番 奥山英幸 議員	12番 吉田芳美 議員	13番 丹野貞子 議員
14番 細矢誓子 議員		

欠席議員(1名)

8番 佐藤修二 議員

◎ 職務のため議場に出席した事務局職員の職氏名

田川美和子 事務局 長	鈴木淳子 主 幹
須藤隆一 議事係 長	嶋田愛 主 査

◎ 説明のため議場に出席した者の職氏名

森谷俊雄 町 長	河内耕治 副 町 長
板坂憲助 教 育 長	真木吉雄 監 査 委 員
須藤俊一 防災・危機管理監兼 総務課 長	真木秀章 防災危機管理課長
日塔俊浩 空き家対策主幹	牧野隆博 政策推進監兼 企画財政課長
佐藤晃一 まちづくり推進課長	今田史明 生活環境企画主幹
今部憲治 税務町民課長	矢作 勲 健康福祉課長
池田恵子 子育て支援主幹	宇野 勝 農林振興課長併 農業委員会事務局長
軽部広文 商工観光課長	土方一郎 都市整備課長

大 泉 正 博 上下水道課長

秋 場 弘 昭 学校教育課長

日下部 敦 子 生涯学習課長

鈴 木 淳 子 監査委員事務局長

◎ 議 事 日 程

令和6年3月28日（木） 午前9時開会、開議

議事日程第1号

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 議案の上程

議第34号 令和5年度河北町一般会計第12回補正予算について

議第35号 令和5年度河北町後期高齢者医療特別会計第2回補正予算について

議第36号 河北町監査委員の選任について

日程第4 提案理由の説明

日程第5 議案の審議、採決

議第34号 令和5年度河北町一般会計第12回補正予算について

議第35号 令和5年度河北町後期高齢者医療特別会計第2回補正予算について

議第36号 河北町監査委員の選任について

閉 会

◎ 本日の会議に付した事件

議事日程第1号のとおり

◎ 開 議

午前9時

○丹野貞子議長 おはようございます。

本日の欠席通告議員は、8番佐藤修二議員であります。

ただいまの出席議員数は13名であります。定足数に達しておりますので、令和6年3月河北町議会臨時会を開会します。

直ちに本日の会議を開きます。

なお、本日、軽部昭博会計管理者兼会計課長が欠席しておりますので、ご了承願います。

本日の議事日程はお手元に配付のとおりであります。

○丹野貞子議長 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第123条の規定により、議長から指名します。

4番 東海林 信 弘 議員

14番 細 矢 誓 子 議員

の両名を指名します。

○丹野貞子議長 日程第2、会期の決定についてを議題とします。

お諮りします。本臨時会の会期については、本日1日限りとしたいと思います。これに異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。

よって、本臨時会の会期は本日1日限りとして決定しました。

○丹野貞子議長 日程第3、議案の上程を行います。

議第34号 令和5年度河北町一般会計第12回補正予算について

議第35号 令和5年度河北町後期高齢者医療特別会計第2回補正予算について

議第36号 河北町監査委員の選任について

以上、3議案を一括上程します。

○丹野貞子議長 日程第4、提案理由の説明を行います。

提案者から提案理由の説明を求めます。

「森谷町長」

○森谷俊雄町長 おはようございます。

本日、令和6年3月河北町議会臨時会を招集いたしましたところ、議員の皆様には年度末の何かとお忙しい中、お集まりいただき厚くお礼申し上げます。

それでは、本日ご提案申し上げております議案につきまして、ご説明申し上げます。

議第34号令和5年度河北町一般会計第12回補正予算について申し上げます。

今回の補正予算はふるさとづくり寄附金の決算見込みに合わせた増額補正のほか、地方交付税の額の確定等に伴う歳入予算の組替えを行うものであり、歳入歳出それぞれ1億2,453万5,000円を増額し、歳入歳出予算の総額を111億817万6,000円とするものであります。

その内容につきまして、歳出から申し上げます。

7款商工費の商工総務費について、ふるさと納税の寄附額が見込みを上回ったことから、ふるさと納税業務委託料、ふるさと応援基金

への積立金及び返礼品を送る際に使用する資材代を増額するものであります。

次に、歳入について申し上げます。

11款地方交付税では、特別交付税の額の確定に伴い、増額するものであります。

18款寄附金では、ふるさとづくり寄附金を増額するものであります。

19款繰入金では、ふるさと応援基金繰入金を歳出に合わせて補正するほか、歳入歳出全体の調整のため、財政調整基金からの繰入れを減額するものであります。

次に、第2表繰越明許費について申し上げます。

特別徴収税額通知電子化基幹税務システム改修事業、戸籍情報システム改修事業、戸籍附票システム改修事業、住民基本台帳システム改修事業、エネルギー・食料品等物価高騰支援給付金事業、河北町民プール高压受電盤改修事業について、年度内の完成が見込めないことから、翌年度に繰り越すものであります。

以上が、令和5年度河北町一般会計第12回補正予算の概要であります。

次に、議第35号令和5年度河北町後期高齢者医療特別会計第2回補正予算について申し上げます。

今回の補正予算は、歳入歳出それぞれ71万1,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を2億6,422万9,000円とするものであります。

歳出から申し上げます。

2款後期高齢者医療広域連合納付金では、広域連合への負担金の確定により増額するものであります。

歳入について申し上げます。

1款後期高齢者医療保険料では、収納見込みを踏まえ、増額するものであります。

以上が、令和5年度河北町後期高齢者医療特別会計第2回補正予算の概要であります。

次に、議第36号河北町監査委員の選任について申し上げます。

河北町監査委員真木吉雄氏は、令和6年3月31日をもって辞職いたしますので、その後任者として清野一晴氏を河北町監査委員として選任いたしたく、議会の同意を求めるものであります。

以上、本臨時会に提案いたしました3議案についてご説明申し上げましたが、ご審議の上、ご可決賜りますようお願い申し上げます。

○丹野貞子議長 以上で提案理由の説明を終わります。

○丹野貞子議長 日程第5、議案の審議、採決を行います。

お諮りします。議案が事前に配付されておりますので、審議の際の議案の朗読は省略したいと思っております。これに異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしと認めます。

よって、議案の朗読は省略することにします。

最初に、議第34号令和5年度河北町一般会計第12回補正予算についてを議題とします。

質疑に入ります。

歳入歳出全款についての質疑の通告を求めます。

(5番、7番の通告あり)

確認します。5番石垣光洋議員、7番木村章一議員。落ちありませんか。

それでは、「5番石垣光洋議員」

○5番(石垣光洋議員) 4ページ、第2表繰越明許費、2款3項戸籍情報システム改修事業308万円、2款3項戸籍附票システム改修事業355万3,000円についてお伺いします。

総務省の戸籍附票システム標準仕様書を見ると、令和3年度に説明資料というのがありますけれども、今回令和5年度で河北町がやった場合、予算に上げられたのに、令和4年

度にはもう標準仕様書ということで示されたと思うんですけども、なぜ令和5年度中にはシステムが改修、完成しなかったというのは分かりますけれども、その理由。

この標準仕様書以外の仕様が河北町としてできたのか。あるいは、単に請け負った業者が標準仕様書のとおり設計できなかったのか。そこら辺、説明をお願いします。

○丹野貞子議長 「今部税務町民課長」

○今部憲治税務町民課長 おはようございます。

4ページ、2款3項の、初めに戸籍住民基本台帳費の戸籍情報システム改修事業308万円、さらにはその下の戸籍附票システム改修事業の355万3,000円でございます。

こちらの事業のほうにつきましては、一番上のほうは法務省の指示です。下のほうは附票ですので、総務省のほうが管轄になっております。どちらのほうも法務省、総務省の指示によりまして、12月補正または3月補正で対応したところでございますが、戸籍及び住基システム改修は、短時間で実施することが困難であり、国においても予算の繰越しを前提としているため、本件についても繰越しを行うものであります。

以上、よろしくお伺いいたします。

○丹野貞子議長 「5番石垣光洋議員」

○5番(石垣光洋議員) 終わります。

○丹野貞子議長 続いて、「7番木村章一議員」

○7番(木村章一議員) 一般会計第12回補正予算の8ページ、歳入、19款1項1目と19款1項4目でございますけれども、財政調整基金の年度末残高は幾らになる見通しかということと、それから、ふるさと応援基金の年度末残高は幾らになる見通しかお聞きします。

それと、財政調整基金というのは、財源として町の判断でいろいろ活用できる貴重な財源であるという位置づけでありますけれども、ふるさと応援基金も、結構大きな額が似たよ

うな性格を持っているのではないかなど。財政調整基金もそういう意味では位置づけが少し軽くなるといいますか、そういうような感じの受け止めでよろしいのかどうか、お聞きしておきたいと思います。

以上、お聞きします。

○丹野貞子議長 「牧野政策推進監兼企画財政課長」

○牧野隆博政策推進監兼企画財政課長 まず、財政調整基金の年度末残高の見込みでありますけれども、このたびの補正後で8億3,500万円余りを予定しております。

一方、ふるさと納税のほうの残高でありますけれども、補正後の残高見込みで19億2,600万円余りという一応想定であります。

それぞれの基金の使い道といいますか、使い方に関係するかと思いますけれども、ふるさと納税につきましては、いわゆる子育てとか文化振興とか、いろんな目的を持って寄附されている方になっておりますので、そういった目的になるべく合わせた形で活用するというふうになりますし、財政調整基金は、あくまでも歳入と歳出の調整を図るものというふうな使い方になるのかなというふうには考えております。

以上です。

○丹野貞子議長 「7番木村章一議員」

○7番（木村章一議員） ふるさと応援基金も目的はあるんですけども、町長が必要と思う使い方をしてくださいという項目、結構大きいパーセントを占めているところもあるんですけども、その辺の位置づけはどういうふうに考えておりますか。

○丹野貞子議長 「牧野政策推進監兼企画財政課長」

○牧野隆博政策推進監兼企画財政課長 ふるさと納税の目的といいますか、納税される方の中で、町長にお任せするというようなところを

選んで寄附していただけている方も、当然おりますので、町長の考えている施策等に重点的に充てるということは当然しております。

それ以外で調整するのが財政調整基金というふうに考えて使用しているところであります。

○丹野貞子議長 以上で、7番木村章一議員の質疑を終わります。

以上で質疑を終結します。

討論に入ります。討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

討論なしと認めます。

採決します。

本案を原案のとおり決するに賛成の議員の起立を求めます。

（賛成者起立）

賛成全員であります。

よって、議第34号令和5年度河北町一般会計第12回補正予算については、原案のとおり可決しました。

○丹野貞子議長 次に、議第35号令和5年度河北町後期高齢者医療特別会計第2回補正予算についてを議題とします。

質疑に入ります。

歳入歳出全款についての質疑の通告を求めます。

（「なし」の声あり）

質疑なしと認めます。

討論に入ります。討論ありませんか。

（「なし」の声あり）

討論なしと認めます。

採決します。

本案を原案のとおり決するに賛成の議員の起立を求めます。

（起立全員）

賛成全員であります。

よって、議第35号令和5年度河北町後期高齢者医療特別会計第2回補正予算については、

原案のとおり可決しました。

○丹野貞子議長 次に、議第36号河北町監査委員の選任についてを議題とします。

担当課長の説明を求めます。

「鈴木監査委員事務局長」

○鈴木淳子監査委員事務局長 議第36号河北町監査委員の選任についてご説明申し上げます。

河北町監査委員真木吉雄氏につきましては、平成28年9月から河北町監査委員を務めていただいているところでありますが、令和6年3月31日をもって辞職いたします。つきましては、その後任者として清野一晴氏を河北町監査委員として選任いたしたく、提案するものであります。

なお、清野一晴氏の略歴については、別紙に記載のとおりであります。

以上、よろしくお願ひ申し上げます。

○丹野貞子議長 担当課長の説明が終わりました。お諮りします。

本議案は人事案件ですので、質疑、討論を省略し、直ちに採決したいと思ひます。なお、採決の方法は無記名投票をもつて行いたいと思ひます。これに異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。

よつて、本議案については質疑、討論を省略し、採決方法は無記名投票により行うことに決定しました。

議場の閉鎖を命じます。

（事務局員 議場を閉鎖する）

ただいまの出席議員数は議長を除き12名であります。

お諮りします。会議規則第30条第2項の規定により、立会人に

1番 安達智勇議員

5番 石垣光洋議員

の両名を指名したいと思ひます。これに異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

異議なしと認めます。

よつて、立会人に1番安達智勇議員、5番石垣光洋議員の両名を指名します。

投票用紙を配付させます。

（事務局員 投票用紙配付）

投票用紙の配付漏れありませんか。

（「なし」の声あり）

配付漏れなしと認めます。

念のため申し上げます。

本案を可とする者は「賛成」と、否とする者は「反対」と明記願ひます。

なお、賛否を表明しない投票及び賛否の明らかでない投票は、会議規則第80条の規定により否とみなします。

投票箱を改めさせます。

（事務局員 投票箱を改める）

異状ありませんか。

（「なし」の声あり）

異状なしと認めます。

これから投票を行います。議席順に投票をお願いします。

（議席順に投票）

投票漏れありませんか。

（「なし」の声あり）

投票漏れなしと認めます。

投票を終了します。

これから開票を行います。1番安達智勇議員、5番石垣光洋議員の開票立会をお願いします。

（開票）

開票の結果を報告します。

投票総数 12票

有効投票 12票

無効投票 0票

有効投票中

賛成 12票

反対 0票

以上のとおり賛成全員であります。

よって、議第36号河北町監査委員の選任については原案のとおり同意することに決定いたしました。

議場の閉鎖を解きます。

(事務局員 議場閉鎖を解く)

○丹野貞子議長 ここで、監査委員から発言を求められておりますので、これを許可します。

「真木監査委員」

○真木吉雄監査委員 7年半にわたり、河北町の代表監査委員として務めさせていただきましたことに、心より感謝申し上げます。

このたび、諸般の事情により任期満了前に退任することになりましたが、皆様のご支援とご協力により、責任を持って職務に取り組むことができましたことに深く感謝しております。

微力ではありましたが、これまで町の発展と繁栄を目指し、常に公正かつ透明な監査活動を心がけてまいりました。結果として、皆様と共に様々な課題に取り組み、よき成果を共に築くことができたことを誇りに思っております。

今後は新たな時代に向けてより一層の発展と進化が期待される中、町の発展に供することができますよう、一町民の立場で引き続き尽力してまいりたいと存じます。加えて、このたびの私の退任が、町の進歩の一助になることを願っております。

最後になりますが、これまでのご指導やご支援に心から感謝申し上げます。今後とも河北町の発展と繁栄を願いながら、皆様とのご縁が続きますことを心よりご祈念申し上げます。

簡単かつ粗辞ではございますが、退任に当たっての感謝とお別れの挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

○丹野貞子議長 真木監査委員には長年にわたり

公正な立場で河北町の発展のためご尽力いただきましたことを心から感謝申し上げます。

本当にありがとうございました。

○丹野貞子議長 ここで、町長から発言を求められておりますので、これを許可します。

「森谷町長」

○森谷俊雄町長 本日ご提案いたしました議案につきまして、慎重にご審議の上、ご可決いただきましたこと誠にありがとうございます。

令和6年度税制改正に伴う関係条例の改正につきまして、本来であれば税制改正関連の河北町町税条例、河北町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について提案すべきところではございますが、年度内の議会での提案は日程的に無理でございますので、専決処分とさせていただきますことをあらかじめご理解いただきたく、お願い申し上げます。

以上、閉会に当たりましての言葉とさせていただきます。ありがとうございました。

○丹野貞子議長 以上で、本臨時会に付議されました事件は、全て議了しました。

これをもって、令和6年3月河北町議会臨時会を閉会します。

お疲れさまでした。

午前9時30分 閉会

会議の経過を記載し、その相違のないことを証するためここに署名します。

令和6年3月

河北町議会議長 丹野貞子

河北町議会署名議員 東海林 信 弘

河北町議会署名議員 細 矢 誓 子